

重要文化財「通潤橋」保存修理工事の現在

6月から崩落部分に設置していた被覆モルタル等（ブルーシート、不織布、金網、モルタルの4層構造）の撤去を行い、崩落の際に流出した土や石材を取り除き、石垣の内部（裏築）状況の確認を行いました。

建造以来初めて明らかとなった通潤橋の内部には、ある程度大きな石材が使用されていました。上部では、円礫を用いて高さ等の調整を行い、板石を敷き並べ、その上に通水石管が配置されていました。

これら裏築部分に、変位（ズレ）や損傷が確認されました。この石材は、壁石や通水管に比べ強度が低いものが多い傾向にありました。想定よりも内部の損傷が大きいことが明らかとなったため、今回の修理では、一度、崩落部の上部にある通水石管を取り外し、裏築を安定させながら壁石の積み直しを行います。

工期は、令和2年3月末までとし、4月からの放水を予定しています。



裏築露出状況



裏築露出状況 全景

※通潤橋の修理については、町のホームページやフェイスブック、インスタグラムでも発信しています。

土砂災害警戒情報発表時の山都町「西部」・「東部」の区域について

土砂災害警戒情報は、大雨警報や大雨特別警報の発表中に土砂災害の危険性が高まったときに、熊本地方気象台と熊本県が協議をして発表される情報です。

大雨警報などの「気象警報・注意報」は山都町全体で一つの区域として発表されますが、土砂災害警戒情報は「山都町西部」と「山都町東部」に分けて発表されます。

土砂災害警戒情報での「山都町西部」は矢部地区と清和地区の全域、「山都町東部」は蘇陽地区全域を指します。

土砂災害警戒情報発表中は「命を守る行動」をお願いします。

なお、この区域についてや、災害発生の予兆、災害に備えた安全対策、火災の際の初期消火や消火器の使い方、避難所等の情報をまとめた「山都町総合防災マップ」に掲載してありますので、ご一読ください。



「西部」 矢部・清和地区全域

「東部」 蘇陽地区全域

問合せ先 総務課防災係 ☎ 72-1111

交通安全意識の向上のために

7月9日山都警察署にて、地域交通安全活動推進委員を退任された甲斐光明さん（菅尾）、田上徳義さん（下馬尾）に感謝状が贈呈されました。

地域交通安全活動推進委員とは、地域において交通安全に関する活動を行うボランティアで、平成3年1月から全国的にスタートしました。

甲斐さんは、平成21年から10年間（5期）、田上さんは、平成3年から28年間（14期）にわたり、山都地区の地域交通安全活動推進委員を務められ、地域における道路交通に関するモラルを向上させ、交通安全の確保について住民の理解を深めるための諸活動のリーダーとして活躍されました。



左から田上さん、甲斐さん、松岡山都署長

少年補導栄誉銀章を受章されました！

日隈雄一郎さん（猿渡）が、全国少年警察ボランティア協会少年補導栄誉銀章を受章されました！熊本県からは日隈さんを含め3名の方が受章されました。

日隈さんは、平成6年に少年補導員として委嘱を受けて以降、25年間にわたり少年の非行防止や健全育成活動、PTA防犯パトロール隊として、子ども達の夏休みなどの長期休暇時や八朔祭等でパトロールを行うなどの諸活動に精力的に取り組んでこられたことが今回の受章につながりました。

「少年補導員は青少年健全育成の一貫でもあるので、できる限り頑張っ続けていきたい。」とこれからの意気込みを話してくださいました。



町長室から 梅田 穰

梅雨明け後は猛暑が続いています。熱中症の予防等、体調管理には十分気をつけていただきたいと思います。その様な中、先日、新規就農者の水菜のハウスをはじめ、雨よけトマト、水耕栽培のトマト、ミニトマト、キャベツの圃場を見て廻りました。いずれの農家のハウス・畑においても立派な管理が行き届いており、感服すると共に、その技術の高さに敬意を表したいと思います。選果場では、生産者の方から、「前年と比べると単価は少し安値傾向だが、11月までの長い収穫期間となるので今後に期待したい。」ということ

遅い梅雨入りと同時大雨・洪水警報、土砂災害警戒情報が相次いで発表され、町としても避難準備情報を発令し、町民の皆さんの安全確保に努めました。心配されるような大きな被害はありませんでしたが、雨量が多かったため、宅地の一部崩壊や農地・農道の決壊等の被害が、町内各地で発生したところです。熊本地震等の災害復旧工事も含め早急な対策を講じてまいります。梅雨明け後は猛暑が続いています。熱中症の予防等、体調管理には十分気をつけていただきたいと思います。その様な中、先日、新規就農者の水菜のハウスをはじめ、雨よけトマト、水耕栽培のトマト、ミニトマト、キャベツの圃場を見て廻りました。いずれの農家のハウス・畑においても立派な管理が行き届いており、感服すると共に、その技術の高さに敬意を表したいと思います。選果場では、生産者の方から、「前年と比べると単価は少し安値傾向だが、11月までの長い収穫期間となるので今後に期待したい。」というこ

した。

8月2日、下市の夜市が開催されました。昼間の猛暑にも関わらず、東京や熊本市からのお客さんは涼しいと口々に仰っておられました。明光保育園の太鼓、矢部中のブラスバンド、菊池女子高校の踊り、商店街の方々の屋台と大賑やかな夜市でした。1千名以上の来場者があったと聞いています。町の賑わいを取り戻すため、色々なイベントを企画してもらいたいと思います。また当日、世界ムエタイバンダム級チャンピオンの志朗選手より「通潤橋復興事業支援金」として寄付を戴きました。平成28年熊本地震直後にも義援金の寄付を戴いており、今回2度目の寄付を戴き、心から感謝申し上げます。主戦場のタイにおいても貧しい方々への奉仕活動も積極的に行っておられるとのこと。9月16日に千葉の幕張メッセで王者決定戦が行われるそうで、志朗選手の必勝を願ひ、町民の皆さまも声援を送っていただきたいと思います。